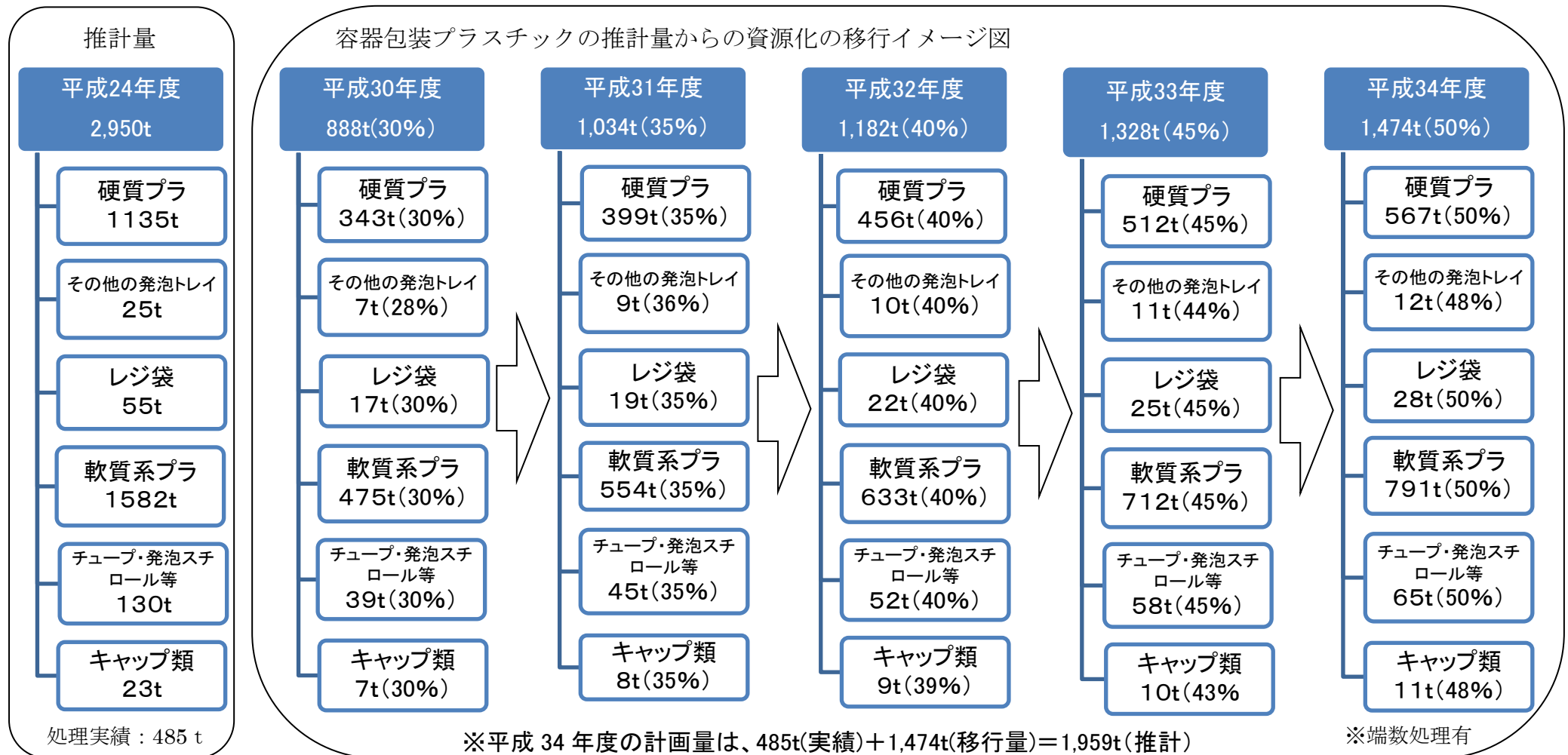


一般廃棄物処理基本計画(平成26年3月策定)における容器包装プラスチック移行計画目標 再配布：平成29年5月13日

【減量シナリオ条件】

- (1) 燃えるごみ及び燃えないごみに含まれる容器包装プラスチックの推計量：2,950t(固定値)
- (2) 硬質プラスチック、軟質プラスチック、チューブ・発泡スチロール等の移行割合を平成30年度には30%、平成34年度には50%削減
- (3) 平成30年度からは、容器包装プラスチックの全量化の実施を踏まえている。
- (4) 移行イメージ図には、平成24年度の実績値、硬質プラスチックの474t及びキャップ類11tは含めず。



※本内容は、一般廃棄物処理基本計画の計画目標値であり、3市共同資源物処理施設との整合性は図っていません。